

平成29年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	ほくほく線沿線の駅を中心とした芸術文化活動による地域の活性化 —浦川原駅と浦川原小学校開校事業を中心に—
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 教授・阿部 靖子
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 岩室の会, NPO 法人里やま学校 他 (担当者職名・氏名等) 岩室の会事務局 (舟橋) 里やま学校事務局 (坂井)
4 事業の趣旨・目的	上越市頸城区, 浦川原区にある「ほくほく線」沿線の駅 (大池いこいの森駅・うらがわら駅・虫川大杉駅など) を中心とした地域の活性化を目的に, 今年度は特に, 小学校統合により新しく浦川原小学校が開校するというこで, 「アート の力を生かした活動を通して, 地域住民 (子ども・大人), 訪問者, 学生とアーティストの交流 (ステーションギャラリー展示, ワークショップなど) の場をつくる活動を行う。
5 事業活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・大池いこいの森駅隣接の「大池いこいの森 里やま学校」でのビオトープや周りの自然を生かしたワークショップの実施 (年2回) ・うらがわら駅, 虫川大杉駅のステーションギャラリーを会場とする作品展示 (年1回, 期間約2ヶ月) <p style="margin-left: 2em;">具体的には, 全紙大サイズのアクリル板4枚に自分たちの姿の輪郭を型取った線を描き, あとでマジックで着色するというワークショップを行った。参加者: 本学学生 8名 岩室の会, 里やま学校関係者 約15名 小学生・中学生・地元住民 約30名</p> <p style="margin-left: 2em;">その後, 作品を虫川大杉駅の壁にはめ込み, 駅を利用する人々が鑑賞できるように設置した。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
6 本事業で得られた成果	<p>アート の力を生かした活動は, 将来教員となる学生にとって美術教育の実践力をつける意味で重要であり, また, 駅という地元と訪問者の接点になるような場所での作品展示やワークショップは, 地域の活性化に大きく貢献するものと考えます。</p> <p>さらに, 本年度開校した浦川原小学校の子どもたちや地域の住民が新たな気持ちと一緒にワークショップを行ったことで彼らの心に連帯感を生み, 非常に意義のあることであった。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	

提出期限: 平成30年4月13日 (金)